

SHIN CLUB 102

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「Consolare」 撮影：Kazuo Fukunaga

今月のトーク/monthly talk

空を見上げて

ビルに切り取られた空を見上げながら、ふと感じることがあります。誰もが享受できる自然は今や「空しか残されていないなあ」と。だからなのか、都市の建築は工夫を凝らして、非建築部分＝屋外＝空を取り込もうとするのかもしれませんが、今月は、空のことを考えてみたいと思います。

写真の雲は、巻積雲（けんせきうん）という雲で、うろこ雲とも言われます。高さは10～12kmで、ジェット機に乗ったときにも少し見上げる高さです。この高さまでを対流圏と言い、高くなるほど気温が下がりこの辺りの気温は約-70℃だそうです。これより上の成層圏に行くと次第に気温が上がっていき、雲が出来ることはありません。この夏東京では、毎日のように巨大な積乱雲（入道雲）が立ち上がり、夜になると「夕立」ならぬ豪雨に見舞われていますが、この積乱雲の高さも高いもので12kmとなり、世界1の超高層ビル（約500m）の24倍の摩天楼を見せてくれます。

屋外空間には直接あるいは間接的に太陽の光が降り注ぎます。太陽から放射されて地球に到達する光エネルギーは、約174ペタワット（pw）といわれています。ベタとは千兆倍を表す言葉ですので、とにかくものすごい量だとしかわかりませんが、このうちの約半分が地表に到達するそうです。さらに、陸地部分で人類が利用可能なのは、このうちの1pwだそうです。それは何と全人類が使うエネルギー量の50倍に匹敵し、ゴビ砂漠に太陽電池を敷き詰めれば、全人類の使う電力量をまかなえるそうです。わざわざ石油を燃やし、二酸化炭素を出し続けているので、本気で太陽エネルギーの活用を考える方が、誰にとっても

わかりやすい議論に思えます。

東京でも、晴れていれば夜空に星が見えますが、一番近い月まで38万km、周囲の星は数万光年もあります。先ほど膨大なエネルギー源と申し上げた太陽までの距離は、約1億5千万kmキロメートルで、光でも8分20秒かかります。そして、大部分の暗黒部分は、絶対零度（-273℃）の宇宙空間で、太陽に温められた地球の熱を、輻射熱として吸収してくれます。これが無くなると、温暖化どころか、地球はたちまち灼熱地獄と化すでしょう。銀河系内だけでも太陽のような恒星は2千億以上あり、その銀河は宇宙全体で1千億以上あるといわれています。それでも、宇宙のほとんどは何もない絶対零度で、夜空が明るくなることはありません。

余談ですが、皆さんは「国際宇宙ステーション」を見たことがありますか？地上400kmの高度で約90分間で地球を一回りしているの、日本からも1等星くらいの明るさでよく見えます（<http://kibo.tksc.jaxa.jp/> 参照）。世界15カ国が参加する地球規模の建設プロジェクトで、2010年の完成時には東京ドームくらいの規模になるそうです。ここから地球を見ると、「空いっぱいの地球」が見えるとのこと。想像しただけでもワクワクします。

いよいよ日本のユニット「希望」も完成間近で、先日JAXA（宇宙航空開発機構）が民間からも宇宙事業の募集を行っていました。ちなみに宇宙飛行士の宇宙での人件費は、時給500万円とか。やはり宇宙は桁が違いますね。

Consolare



高層棟と低層棟が織りなす、ハイブリッドな集合住宅

西新宿の高層ビル群を一望できる高層棟とバリエーション豊かなプランの低層棟。

「Consolare(コンソラーレ=イタリア語で『癒し』を意味する)は、山手通りと斜めに交差する旧玉川水道道路の交差点近くに建つ、全25戸の賃貸集合住宅である。高層棟は、ワンフロア2戸のフラットタイプ、低層棟は周辺の建物との関係を重視して、隣接する北側の私立高校側から南側の前面道路に向かって、さらに高さに3層分の変化を持たせている。屋根勾配が個々の住戸に個性をもたらし、SOHO的な利用の可能性を広げている。

また1階部分には、共用サービスとして、エントランスホール、中庭、ゲストルームを設け、カフェや集会所などのサービスを提供する。南側に設けた植栽部分、その外側の大きなガラス窓を通して、一般的な集合住宅にありがちな閉じた内部ではなく、そのキャラクターが外に滲み出るような親和性のある空間を作っている。



それは、かつてフィレンツェの「捨て子養育院(ブルネレスキの代表作)」のポルティコという回廊と中庭が、都市空間へのアクセスに心地よいリズム感をもたらしてくれた自分の体験から来ている。建築の内部と外部の関係は、プライベートかパブリックか、という対立だけでなく、お互いに自分の領域をギブアンドテイクすることで、より豊かな関係が築かれ、都市生活を魅力的なものにしていく、と考えている。

(長田直之氏 談)

所在地：渋谷区
用途：共同住宅
構造：RC造
設計：長田直之 / ICU 一級建築士事務所
構造設計：Ks 構造設計事務所
施工担当：岩泉明人、寺井誠治、若井定昭、池山幹人、奥村光廣
竣工：2008年4月
撮影：Kazuo Fukunaga

①高層棟8階から見た西新宿の夜景。床から天井までの開口部の高さは2600mm②非常階段と高層棟を南側道路から見上げる。山手通りの騒音はコンクリートの壁で気にならない③東側から高層棟と足元の中庭、低層棟を臨む。高層棟のガラスに副都心の景色が映り込む④1階、中庭。正面の低層棟の向こう側は学校だが、音はあまり気にならない

Lynx takanawa

建築と看板の融合を提案する、新しいカタチのテナントビル

五反田から、都心に向かって国道1号線を上りきった大きな較差点の、見通しの良いわずか45㎡の小さなスペース。この場所を生かして、テレビのような広告効果のある発信性の高いオフィスができないか、と考えた。ガラスファサードを3分割し、法的な条件を満たしつつ、天井を高くした2階の上部壁面に内装式の広告を設置して、1、2階のオフィスの業態と一体化させる。例えば自動車ディーラーであれば、1階に車そのものを展示しつつ関連商品を2階に置き、あるいは接客スペースを設け、上部に車の広告看板を打つことで、トータルで会社のコンセプトを表現できるのではないかと。

都心を走り回っているラッピング・バスから得た着想だが、コーポレートガバナンスの重要性が叫ばれる今、いろいろな利用方法でテナントが展開されることを期待している。

(高階澄人氏、芝祐仁氏談)



①南側全景。建物の形は写真手前に向かって、約1m開いている。軒の高さを一定にするため、弧状の鉄骨トラスは見た目より複雑な鉄骨構造となっている②建物正面。分割された、ファサードの上部にスクリーンが張られる。現在は、シャンパン・カフェが入ることが決まっている③設計段階での展開イメージの一つ。ラッピング・アーキテクチャー

所在地：港区 用途：店舗・事務所
構造：鉄骨造 規模：地上2階 延床面積：74㎡
設計：高階澄人建築事務所 構造設計：川上構造デザイン
施工担当：宮島利夫、塩康夫 竣工：2008年5月
撮影：KATSUTA SHOYA



撮影：アック東京

—はじめに、田中さんがダンスのお仕事を始められたきっかけとは、何だったのですか？

田中：もう、運命ですね。もともと私は、アパレルのデザイン会社をやっていました。デザイナーになりたくて、専門学校で勉強した後、デザインの仕事をしながら会社を持つのが夢でした。24歳で独立し、天職だと思って順調に仕事をしてきたのですが、27歳の頃から、なんだかお金のためだけに仕事をしているような矛盾を感じ始めるようになりました。しかし、協力工場もあるし、年齢のいった従業員も抱えていたし、すぐには会社をやめることはできませんでした。

それで、あるとき運動不足もあったので、ストレス解消のため土日だけダンス・スタジオに通い始めました。自分で言うのもなんですが才能があった(笑)。半年後、発表会に出たら、ほめられてますますやる気が出ました。「ダンス」は「料理」みたいなもの。食べてしまったら終わり、つまり踊ってしまったら終わりです。でもその対価が十分あるから、皆レッスンに通う。しかもレッスンに通った結果、「踊りがうまくなる」「健康になる」「セレブになる」というようなメリットではないのです。そこには仲間がいる、学校や会社、家庭にはないコミュニティがある。目標にすることがあって、他人と心を通い合わせられるから楽しい。「これこそが人間にとって必要な栄養なのだ」と感じました。そこで、これを仕事にできないか、仕事というよりどうやって自分が関わっていったらいいか考えたのです。それまでは、何をやっても「どうやったらお金にできるか」という計算ばかりでした。でもダンスに関しては、「自分がやりたい」という純粋な感覚でしたね。

こうして30歳の時にダンスにはまって、まさか辞める事はできないと思っていた会社の代表権を知人に譲り、いよいよ本格的に打ち込むようになりました。最初は少人数で先生を呼んで、レンタル・スタジオで練習に励んでいたのですが、1年経ったら200人以上の生徒が集まり、「それなら練習のたびに借りより、自分がオーナーになろう」とスタジオを持ちました。毎日3レッスン受けて、スタジオの掃除も行なう「変わり者社長」と呼ばれ、楽しくレッスンに励んでいましたが、あるとき、発表会を前にリハーサル中に骨折してしまいました。ギブスをはめて、これは自分に課せられた「壁」なのだから、いつものように乗り越えなければ、と退院後、再びトレーニングを始めました。が、今度はアキレス腱を切りました。

—ずいぶん激しいダンスのような気がしますが、どんな踊りですか。ヒップ・ホップとか…。

田中：ブラジリアン武術の一種、<カポエイラ>です。そこでギブスをはめられ、ベッドの上で考えました。「乗り越えなければならぬ壁だと思っていたけれども、これは、これまで趣味の延長でやってきたダンスを、

現在 NHK で放映中の朝の連続テレビドラマ『瞳』は、ダンサーを目指す女の子が主人公。世はまさにダンスブーム到来といった感じですが。今月は、渋谷を拠点にダンス・スタジオ、イベント事業を手がける、プレジャー・ガレージグループ代表の田中浩司氏にお話を伺います。3つのスタジオの会員数は8000人を超え、近年はその「発表会」もダンス初心者がその実力を試す場としてだけでなく、観客を楽しませる工夫に満ちたもので、エンタテインメント性が高まっています。

Koji Tanaka

もつというんな人をハッピーにするために生かしなさい、という神様のおおげかもしれない」と思い直したんです。

それから、田中さんは、本格的なダンススクールを立ち上げ、プロを目指す人が学べるスタジオから、女性を中心にした初心者も楽しめるスクールも作る。加えてイベントを企画したり、DVDを出したりと、ダンスの関連の事業を次々と手がけ始める。

—ダンスが、今求められるのは、なぜだと思いますか？

田中：一つは、人と人のふれあいがバーチャルになりすぎているからだと思います。携帯電話、メール、インターネット、どれを見ても、人が動いて、自分の肌で感じあわなくてもコミュニケーションできてしまっている世界。だからこそ、こういうコミュニケーションが必要だと思うのです。人間から自分の身体を使った表現力を取ってしまったら、人間ではなくなってしまいます。ダンスとは身体で表現することですから、おそらく文字が発明される以前からやっていたことなんです。「うれしい、悲しい、雨よ降り、世の中が平和になりますように…」そういう祈り、怒りも、全部身体で『表現』していたはずですが。しかし言葉が発達して、文章、映像などで、空間的にも離れていても表現が伝わるようになってしまった。でも「身体を使って表現する」という最も人間らしいことができなくなっている。自分が一番言いたい気持ちをどんどん違うものに変換してしまっているのです。ちょっと脚色したり、ちょっと美しくしたり、商売にしたり。「こう思う」という自分の心を100%伝えられない人間が増えてきたと思います。

では、どうやってその難しさを克服するかというと「言葉を使わない、エレクトロニクスを使わない」ということに尽きます。それにはダンスはものすごくいいツールなんですよ。

私は今、このダンスを踊る場所を世界中に広げたいと考えています。かつて日本は器用さとまじめさと優秀な能力で、GDP世界第2位にのし上がりましたが、いまやほかの国々に追いつかれています。この先、中国、インドなど、数かものをいう国がどんどん発展し、日本人の培ってきた英知や技術はいずれ抜かれます。そのときに日本人が本来得意にしている、芸術的センス、繊細な感性が意味を持つと思いませんか。だんだん進歩していく世界中の国々がエレクトロニクスに毒されて、今の日本と同様人間らしくなくなっていくときに、日本が世界に対してやっていけること、それが「和」の文化を伝えることなんです。そういう心を大事にしていくことが本来人間にとって一番楽しいことなんだということを伝えていきたいですね。

—一本日はどうもありがとうございました。

「ダンスは、音楽、衣装、照明、舞台技術、建築、 いろいろなものが関わるエンタテインメントです」

田中浩司
1965年山梨県生まれ。
1996年 ダンススタジオ S.I ダンスカンパニー設立
2001年 有限会社プレジャーガレージダンスユナイテッド設立 スタジオ名を S.I ART WAVE PLANT に変更
2003年 業界初女性限定ダンススタジオ Rei Dance Collection 設立
2004年 株式会社プレジャーガレージに組織変更
2005年 パレエ専門学校 Angel R Dance Palace 設立
現在、ダンススタジオ3店舗、プロダクション事業部、イベント事業部を総合的に運営

NHK のドラマのロケにも使われた、Rei Dance Collection のスタジオの前で。

来る9月14、15日に
Rei Dance Collection 第5回発表会
が人見記念講堂で開かれます。
お問い合わせは電話 3-3770-7651
(株)プレジャーガレージまで



メンテ魂

その後、
お住まいはいかがですか

第10回 火災のとき 高津の家

所在地：川崎市
用途：専用住宅
構造：木造
規模：地上3階
設計：(株)ユニホー辰カンパニー 一級建築士事務所
竣工：2008年6月



今月は、番外編です。隣家からのもらい火事という災難を経験され、辰カンパニーで自宅の復旧工事を行ったK様ご夫妻。竣工にあたって貴重なお話をお聞かせくださいました。地震、火事、洪水、誰もが災害に見舞われる可能性があります、そのとき、どんなことが実際に起こるのでしょうか。改めて身の回りのこと、見直してみたいはいかがでしょう。

東急田園都市線高津駅から、徒歩約10分というK様宅は、10軒の住宅が囲む袋小路の、木造3階建ての3世代住宅でした。

今年1月末の日曜日の夕方、居間でくつろいでいたKさん夫妻のところに、突然「火事だ」と近所の人が駆け込んできました。

—そのときは、ほかの家族の方たちはどうしていたのですか。
奥様：2、3階が娘夫婦の世帯なのですが、留守でした。2階に上がってみると、隣の窓のところから火の粉が吹き込んでくるので、いそいで主人と貴重品を持って避難しようと1階に下りたのですが、そこに30代くらいの若者が「何かお手伝いしましょうか」と駆け込んできました。それで、2階に娘たちの飼っているチワワがいることを思い出して、連れてきてほしいと頼みました。ところが、「見当たらない」というんですよ。でも、確かに2階にいるんですね。

奥様：自分じゃ階段を下りられないんですから。私が再び上がっていくと、階段の裏側に震えて隠れていました。抱き上げておいたら、その瞬間、バックドラフトというのですか、ものすごい炎が隣の窓から2階に吹き込んできて、間一髪で助けることができました。

K様：消防車もなかなか来ない気がして、外で気をもんでいたのですが、本来一番に知らせるべき、その家の奥さんが気が動転して逃げてしまって、通報したのは奥の家の人と、隣のマンションの人だったそうです。タバコの不始末だったのですが、家の中も雑然として消火活動に支障があったようですね。以前から家の周囲に無造作にダンボールを積み上げていたりして、近所でも心配していたんですよ。

—結局、全焼だったのですか？
K様：一部壁は残ったけれど、家の中は真っ黒です。消火活動のためびしょびしょになって、何もかも使い物になりません。

当日夜、以前下北沢の私のビルを施工してくれた、辰の前身会社の

会長が「何かお役に立てることがあればどうぞおっしゃってください」と見舞いにきてくれました。また、風があまり強くなかったことも幸いして、近所の他の家は延焼を間逃れたので、反対隣の家の方が娘たちを泊めてくれました。ホテルに泊まった私たち夫婦には、近所にアパートを持つ人が、空き部屋を使ってほしいと後から申し出てくれました。災害時は、何よりも人のご縁が大切だと痛感しました。

奥様：20年前にこちらに越してきたときから、皆さんと家族のようにしてきましたから。毎年夏の終わりには路地でバーベキューをして、うちの子もその子も一緒に育った感じですね。火事場に残ったものを寒い中洗ってくれたりして、近所の方には本当に感謝しています。K様：幸い保険もすぐに下りて、家の復旧工事に着手しました。

奥様：火事を体験したことでいくつかわかったことがあります。預金通帳とカードは絶対に持って逃げる。後で発行してもらえらるからといっても持って逃げてよかったです。手続きは煩雑で時間を取られます。また当日は消防署、警察、区役所などから身分を確認するのと同じことを何度も聞かれました。家族全員の生年月日や仕事内容を事前に書いたものを用意しておくといいですね。それから、火災保険の書類申請には、家財道具全てを記入することになります。これが大変で、書いている途中であきらめました。

—家電の金額なんて、ほとんどの方は覚えていないでしょう。
奥様：特に大事なものの金額は忘れずに記しておくといいですね。
K様：今回の辰カンパニーの工事では、社長始め、M部長や職人さんの熱意が伝わってきてうれしかったですね。現場担当のS君は工事の合間をみては進捗状況をこまめに知らせてくれました。

—関係者も、新しいお宅での再スタートのお手伝いできて、勇気付けられたと申しておりました。ありがとうございました。



①南東側からみた火災直後のK様宅。左側が火元の家②3階。外壁は残っていますが内部はこの通り③北西側からみた新しいK様宅④1階リビングダイニングでくつろぐK様夫妻⑤最近の豪雨を鑑み、K様宅に雨水が流れ込まないよう、隣接するマンションの自転車置き場の屋根に樋を新たに設置させてもらった

TOPICS/INFORMATION

「西中延2丁目計画 上棟式」
9月3日



お施主様の住宅部、階段室の仕上げが楽しみです。

構造：RC造 規模：地上6階
用途：共同住宅
設計：桑原聡建築研究所
完成予定：2008年11月

「西五反田7丁目PJ 上棟式」
9月3日



お施主様の住宅中心のビルディングが上棟しました。

構造：RC造 規模：地上8階
用途：店舗・共同住宅
設計：横堀建築設計事務所
完成予定：2008年11月

「Yマンション新築工事 地鎮祭」 9月3日



田端の文士村近くの「都の区画整理事業」の土地に、お施主様の住宅と賃貸事業の工事が始まります。

構造：RC造 規模：地上3階
用途：共同住宅
設計：真栄史郎/GA建築工房
完成予定：2009年5月

編集後記

・「新建築 住宅特集 2008.9月号」に「SOI HOUSE」が掲載されています。ぜひご覧ください。

(株)ユニホー辰カンパニー通信 Vol.102 発行日2008年9月10日
編集人：松村典子 発行人：森村和男